



九州圏拠点として機能強化

桃陽電線 九州営業所

倉庫拡大で迅速に対応



木村 文孝 所長

【福岡】空調関連部材の総合メーカー、桃陽電線(代表＝奥田康信氏、本社・大阪市天王寺区石ヶ辻町18-22)の九州営業所(所長＝木村文孝氏)が移転し、5月19日から業務を開始。営業エリアにおける物件動向と相まって九州圏の営業拠点としての機能を発揮している。

所在地は福岡県大野城市御笠川3-2-16(電話092-1558143)で、22)。社屋は2階建てで、1階に事務所と倉庫を、2階にも倉庫スペースとコミュニケーションスペースを構える。敷地・倉庫スペースは共に旧営業所と比べて2・5倍の規模となった。新営業所について木村所長は、「倉庫が広くなり、配送の迅速化、在庫機能の拡充強化を実現できた。弊社では、物流業界における2024問題を受け、倉庫スペース拡大等在庫機能強化に取り組んでいる。これにより迅速に対応できるエリアが広がり、お客様ニーズにお応えできる体制を整えた。大宰府ICから車で約2分、九

州を南北に縦貫する国道3号線にも近いので、お客様との接点をより一層広げられる」と話す。

九州営業所は同社初の営業所として、開設から50年の歴史を持ち、九州全域と沖縄県の九州経済圏を営業エリアとする。福岡市内では天神ビッグバンの再開発が進



九州営業所新社屋の外観

み、新施設『ONE F UKUOKA BLD G』の開業が2025年春に予定されている。その他熊本県では半導体工場建設が進んでおり、

沖縄県ではゴルフ場に併設するリゾートホテルが2026年開業を予定する等、エリア内では市況の活性化が見込まれている。当営業所も多くのお客様の要望にお応えできるよう出荷体制を整え、営業活動に精進し、今後は九州エリアにも積極的に展開していきたい。将来的には増員し九州全域の顧客満足度を上げていけるよう頑張りたい」と木村所長は目標を掲げる。